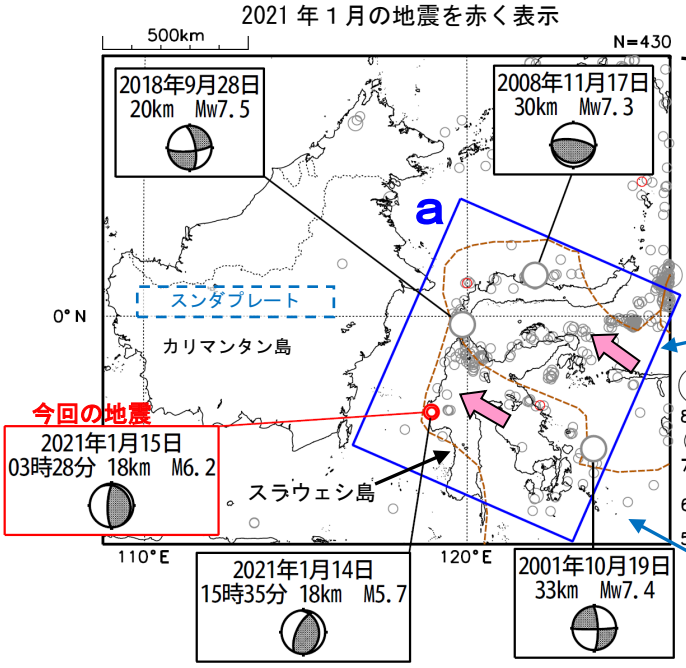
１月 15 日　インドネシア、スラウェシの地震

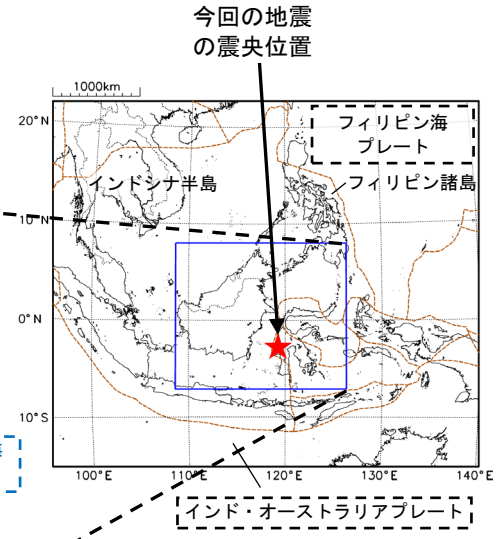
2021 年１月 15 日 03 時 28 分（日本時間、以下同じ）にインドネシア、スラウェシの深さ 18km で M6.2 の地震（USGS による）が発生した。この地震の発震機構（GlobalCMT による）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、インドネシアでは死者 91 人、行方不明者３人、重傷者 404 人などの被害が生じた（１月 22 日現在）。今回の地震が発生する約 12 時間前に、ほぼ同じ場所で M5.7 の地震が発生している。

2001 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ａ）では、M6.0 以上の地震が時々発生しており、2018 年９月 28 日に発生した Mw7.5 の地震（Mw は気象庁による）では死者 2000 人以上などの被害が生じた。

1970 年以降の活動をみると、ニューギニア島西部からカリマンタン島にかけて、M7.5 以上の地震が時々発生している。1976 年８月 17 日に発生した M8.0 の地震では、この地震により津波が発生しており、また、死者 8000 人などの被害が生じた。

震央分布図①
（2001 年１月１日～2021 年１月 31 日、
深さ０～50km、M≧5.0）
2021 年１月の地震を赤く表示

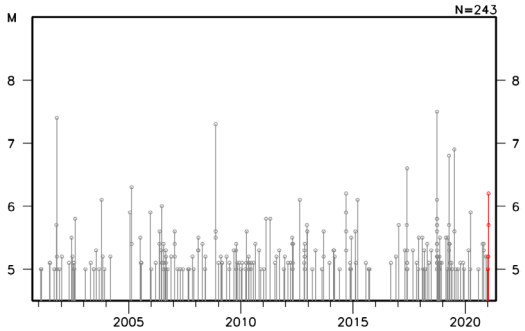




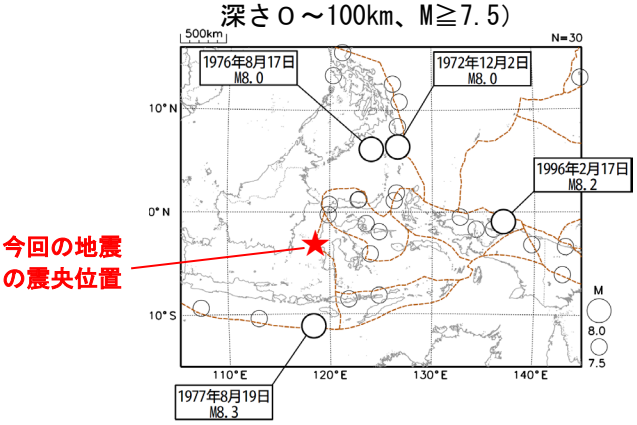
プレート境界の位置
プレートの進行方向

プレートの進行方向は、スンダプレートを固定した場合の相対的な方向である。

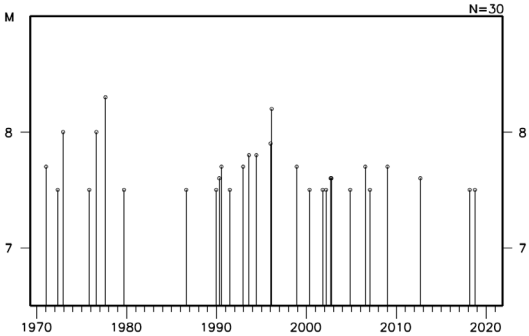
領域ａ内のＭ－Ｔ図



震央分布図②
（1970 年１月１日～2021 年１月 31 日、
深さ０～100km、M≧7.5）



左図内のＭ－Ｔ図



※本資料中、震央分布図①内の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。但し、吹き出しの付いた地震の発震機構と Mw について、2018 年９月 28 日の地震は気象庁による、その他の地震の発震機構は GlobalCMT による、2001 年 10 月 19 日、2008 年 11 月 17 日の地震の Mw は GlobalCMT による。震央分布図②内の 2016 年以前の地震の震源要素は国際地震センター（ISCGEM）、2017 年以降の地震は米国地質調査所（USGS）による（2021 年２月１日現在）。ISCGEM による震源データの地震の規模は Mw である。1976 年８月 17 日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird（2003）*より引用。

＊参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.